

マテリアリティ（重要課題）のKPI

Scope 1:事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）
 Scope 2:他社から供給された電気、熱・蒸気の使用による間接排出
 Scope 3:Scope 1、Scope 2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）
 原単位は三浦工業単独の国内売上収益より算出
 当該ページの国内グループは、三浦マニファクチャリング、三浦アカデック、三浦工機、三浦環境マネジメント、ミウラ・エス・エー、ミウラジョブパートナー
 ※三浦工業、三浦マニファクチャリング、三浦アカデック、三浦工機、三浦環境マネジメント、ミウラ・エス・エー、ミウラジョブパートナー、他3団体

マテリアリティ		目標	取り組み内容	KPI		2023年3月期実績	2024年3月期実績
E	環境負荷の低減	自社の事業活動の環境負荷低減	自社排出CO2の削減 ■再生可能エネルギー・省エネのインフラ整備（太陽光発電、照明のLED化、空調デマンド制御、省エネ生産設備導入） ■その他施策の実行（非化石電力、Jクレジットの購入）	Scope 1・2 (GHG排出量) の削減率（三浦工業および国内グループ）	2030年 および 2050年	2030年:2013年比▲50% 2050年:2013年比▲100%	CO2排出量:10,258.1t-CO2 2013年比:▲31.3%
			水使用量の削減 ■排水の再利用	水使用量の削減率（三浦工業（支店を除く）および国内グループ）		2030年:売上原単位2019年比▲35% 2050年:売上原単位2019年比▲65%	2022年原単位:1.46m ³ /百万円 2019年比:▲16.7%
			廃棄物量の削減 ■排出物のリサイクル	排出物リサイクル率（三浦工業（支店を除く）および国内グループ）		2030年:85% 2050年:95%	排出物量:1987.2t 排出物リサイクル率:74.9%
	気候変動への取り組み	環境負荷低減に貢献する製品の開発と省エネルギー提案の強化	製品サービス利用時のCO2削減 ■燃料転換（油→ガス）の促進 ■廃熱回収、未利用熱活用の推進 ■省エネ提案活動の推進 ■新燃料対応、トータルソリューション提案の促進	Scope 3 (GHG排出量) の削減率		2030年:売上原単位2019年比▲40% 2050年:売上原単位2019年比▲100%	2022年原単位:196.6t-CO2/百万円 2019年比:▲20.0%
S	人財戦略・マネジメント	個の能力を活かす人事制度の構築	人事制度見直しの推進 ■人事制度の課題洗い出し ■役割と成果に応じた報酬制度への見直し	役割と成果に応じた報酬制度の拡充および運用状況（三浦工業）	2026年	定性評価	人事制度プロジェクトの活動を継続 新報酬制度の検討会を開始
		多様性の確保と人財育成	人財基盤の多様性の確保 ■女性活躍の推進 ■中途採用拡充 ■若年層の離職低減 ■シニア人財活用 ■外国人登用の拡充	女性管理職比率（三浦工業）	2027年	4.5%以上	3.3%
			人財育成の継続的強化 ■研修コンテンツの充実 ■新入社員のメンテナンス業務教育の充実 ■事業成長に必要な主要資格保有者数の増加	ローカルスタッフの管理職登用率（海外連結子会社）	2025年	80%以上	75.6%
		働き方改革、両立支援制度の拡充	熱ソムリエ対象資格 資格保有数（三浦工業、複数取得者有り）	2026年	2021年度比+30%以上 (基準年2021年度 資格保有数:1,233)	基準年比 +12.2% (資格保有数:1,384)	基準年比 +29.5% (資格保有数:1,597)
			有給休暇取得率（三浦工業）	2026年	80%以上	82%	70%
			従業員満足度の調査対象会社の拡大（国内連結子会社）	2026年	100%	調査対象会社割合:64%	—
		人権尊重の徹底	エンゲージメントサーベイ・スコア（三浦工業）	2030年	エンゲージメントサーベイ・スコア 55	—	スコア 49.6 エンゲージメントサーベイへの移行に伴い 2024年3月期より目標設定を変更
R	労働安全衛生	従業員および取引業者の労働災害発生防止	人権デューデリジェンスの推進 ■人権ポリシーの浸透 ■人権リスクの特定とデューデリジェンスの実施	人権リスクの特定と対策（人権デューデリジェンス実施状況）（国内連結子会社）	2026年	定性評価	三浦工業およびグループ会社・団体 [※] を対象に人権教育（e-ラーニング）、LGBTQ対策、多様性理解を目的としたコンテンツ学習の実施:受講率 98.1%
		従業員の心身健康増進	重大事故・災害の発生予防教育の継続実施 ■安全衛生講習の徹底 ■安全衛生委員会の活性化、職場の安全意識の向上	重大事故・災害発生状況（国内連結子会社） 死亡事故、身体に障害が残るような事故、3人以上が被災する事故	2026年	0件	重大事故・災害:0件 重大事故・災害:0件
G	製品・サービスの品質管理	品質マネジメントシステムの有効性向上	健康増進支援の継続実施 ■健康経営優良法人認定の維持 ■健診業務の外部委託化 ■心身健康相談・支援体制の強化	心身健康相談や休職者フォローの仕組みの整備状況（国内連結子会社）	2026年	定性評価	健康経営優良法人（大規模法人）2023に認定（総合順位2,301位～2,350位/3,169社中、総合評価 偏差値44.2）
			リスクアセスメント、クレーム発生予防の継続的強化 ■お客様満足度の向上 ■品質異常突発の低減 ■設計品質の向上 ■海外の品質管理体制の強化	クレーム費用売上高比率（三浦工業）	2026年	0.56以下	0.69% 目標達成のため目標値を上方修正
	サプライチェーンマネジメント	サステナブル調達の実現	品質自己チェック実施状況（海外連結子会社）	2026年	定性評価	2022年度の調査回収は完了（100%）得点率の改善目標（60%以上）については、殆どの国で達成したので2026年度の目標値を再設定	2023年度の調査回収（82%） 2026年度の目標値を再設定
	コーポレート・ガバナンス	取締役会の実効性向上	サステナブル調達ガイドラインのアンケート回収率（三浦工業）	2026年	100%	77.9%	67.0%
C	コンプライアンス	コンプライアンスの徹底	取締役会の実効性向上の取り組み ■取締役会の実効性評価の向上（外部評価機関の活用）	取締役会の実効性向上の取り組み状況（三浦工業）	2026年	定性評価	外部機関アンケートにおける評価内容 向上項目:5件 同評項目:6件 低下項目:22件
			コンプライアンス教育の継続強化 ■コンプライアンス意識調査の定着化 ■コンプライアンス研修受講対象範囲の拡大 ■重大なコンプライアンス違反発生の防止	コンプライアンス研修受講率（国内連結子会社）	2026年	100%	97.2%
							98.10%